



国勢調査

平成17年10月1日(土)

国勢調査は統計法により、政府にその実施が義務づけられた、国の最も基本的な統計調査です。国内の人口や世帯数の実態を明らかにするため、日本に住むすべての人を対象に5年ごとに実施されます。

図1 大阪府の人口推移

大阪府の人口増加数は昭和35～40年が過去最高。その後、増加数は減少傾向にあります。平成12年の調査では、増加数・増加率ともに戦争の影響による減少を除き、調査開始以来もっとも低い数字になっています。

男女数について昭和35年以降の推移をみると、昭和50年に女性人口が男性人口を上回って以来、その差は広がってきています。

平成12年調査

大阪府人口 8,805,081人

男 4,304,059人

女 4,501,022人

昭和40年

・人口増加数

1,152,443人

・人口増加率

20.94%

昭和50年以降、女性の人口が男性の人口より多くなり、その差は広がってきています。

平成12年

・人口増加数

7,813人

・人口増加率

0.09%

・人口性比

100 : 95.6

女性 男性

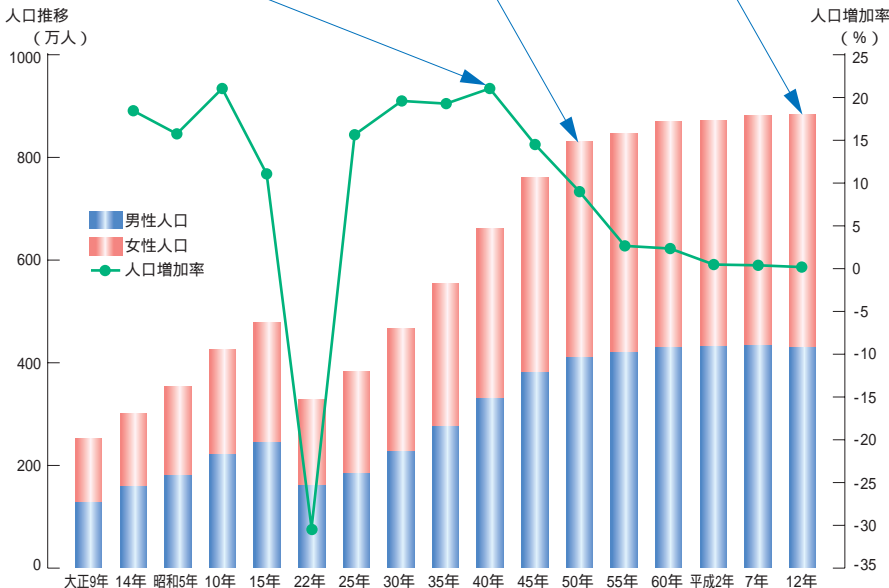


図2 大阪府の世帯数の推移

大阪府の世帯数は一貫して増加傾向にあります。平成12年調査でも世帯数の増加率が人口の増加率を上回り、世帯規模の縮小化がすすんでいます。

平成12年調査

大阪府世帯数 3,485,910世帯

一世帯当たり人員

人口 / 世帯数

・昭和30年 4.51人

・平成12年 2.53人

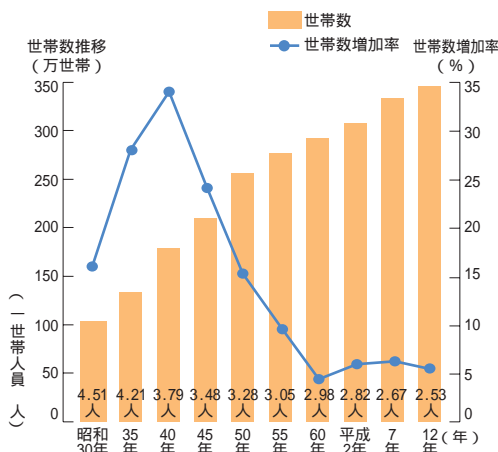
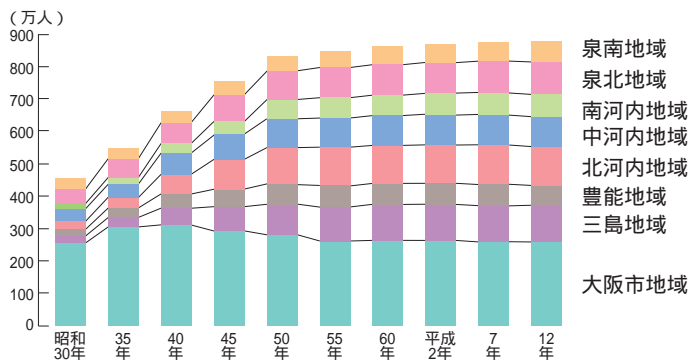
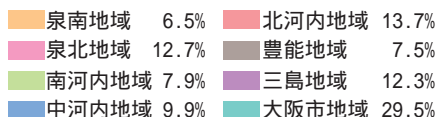


図3 大阪府の地域別人口の推移

平成12年調査では、大阪府人口の地域別割合は、大阪市地域が29.5%、北河内地域が13.7%、次いで泉北地域、三島地域と続いています。

地域別人口の割合(平成12年)



国勢調査の結果は、私たちの住む社会の状況を把握できるとともに、住みやすい社会とするための計画や行政を行うための貴重な資料となります。

保育所等の子育て関連施設の充実度を測る指標に、就学前の人口が利用されています。高齢者向け福祉施設等の充実度を測るための指標に、高齢者の人口が利用されています。防災計画策定の基礎資料として、人口、人口密度、人口分布(都市部では昼間人口)が利用されています。雇用対策策定の基礎資料として、就業の状態、産業・職業別従業上の地位別(常雇、臨時雇の別)人口等が利用されています。